

つくるレッドリストでなく つかうレッドリストへ ーレッドリストを生物多様性保全ツールとして活用するためにー

近畿の各府県でも地域版レッドリストの改訂が進んでいます。地方でのレッドリスト見直しは一定の理解を得ているように思いますが、リストができあがっただけでは生物は保全できません。

現況把握が進む、意識啓発が進むという一定の効果はありますが、個別の種の保全戦略や生態系保全のための取り組みはなかなか進んでいません。このシンポジウムではレッドリストをつくるだけでなく、保全のツールとして使うための方策を検討、ディスカッションしたいと思います。



- 1)「趣旨説明 レッドリスト後の保全戦略のために」
石井 実 (大阪府立大学)
- 2)「絶滅のおそれのある野生生物種の保全戦略」
徳田裕之 (環境省野生生物課)
- 3)「地域で保全を実行するために」
大嶋範行 (兵庫・水辺ネットワーク/
神戸市環境局環境創造部環境評価共生推進室)
- 4)「レッドリスト種の保全に配慮した施工実現のために」
山崎俊哉 (株式会社 建設環境研究所)
- 5)総合討論
コメント 中井克樹(滋賀県)

2015年3月1日(日) 14:30-17:00
大阪市立自然史博物館 講堂

(御堂筋線、阪和線長居駅下車)

申し込み不要。参加費無料、ただし博物館入館料(大人300円)が必要です。
当日は終日、地域自然史と保全研究発表会として関連発表が行われています。
詳細は関西自然保護機構 HPを御覧ください。 <http://www.omnh.net/konc/>



主催: 関西自然保護機構・一般財団法人環境事業協会
・大阪市立自然史博物館・大阪生物多様性保全ネットワーク